

## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策：01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

担当部長職・氏名	市民環境部長 高橋 克周
----------	--------------

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想が目指す状態との関連

	【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	お互いを思いやり個性や多様性を尊重し合うとともに、つながりによる絆を深めながらお互いを支え合い、市民一人一人が安全で安心な住み良い地域の未来を考え、共に行動しているまちを目指します。
	【基本構想が目指す状態（やさしさに包まれた滝沢）との関連】	「やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち」の実現を目指すためには、市民のライフスタイルが多様化する中、地域での生活や様々な活動において、お互いを思いやり一人一人の個性を尊重しながらあらゆる世代がかかわりつながることは、持続可能な社会を構築していくためには重要と考えます。また、地域で様々な人や団体とのつながりを保ちながら暮らし、共に支え合い主体的に行動するための地域活動を支援することは、「かかわりによる市民主体活動を後押しできる環境づくり」に繋がるものです。

(2) 政策に関連する指標の状況

No	政策関連指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	地域とつながっていると感じている人の割合 単位 %	42.7	43.3 45.5	43.9 0	44.5 -	45.1 -	45.1 -	- 0.0	
	単位								
	単位								

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施策名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施策関連指標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	01010100 つながり支え合う、市民主体の地域づくり 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	68.9	70.5 71.3	72 0	73.5 -	75 -	75 -	- 0.0	
2	01010200 安全で安心できるまちづくり 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %	46.4	47 44	47.6 0	48.2 -	48.8 -	48.8 -	- 0.0	
3	01010200 安全で安心できるまちづくり 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	67.7	68.3 71.8	68.9 0	69.5 -	70.1 -	70.1 -	- 0.0	
4	01010300 自然と共生し、資源を大切に生活環境づくり 一人1日当たり家庭系ごみ排出量 単位 g	481	473 488	465 0	457 -	448 -	448 -	- 0.0	
5	01010400 環境変化に対応し、安心して信頼される窓口づくり 窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合 単位 %以上	72.4	78 74.7	79 0	80 -	80 -	80 -	- 0.0	
	単位								

## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政策：01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

担当部長職・氏名

市民環境部長 高橋 克周

## 2. 政策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 政策の進捗状況分析

自治会や地域コミュニティ基本条例に基づく市内11の地域づくり懇談会等による地域活動、自主防災組織による避難訓練等の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の状況に戻ってきたと捉えています。しかし、活動を支える役員の高齢化や担い手不足などの課題はあり、活動する団体の負担軽減や活動の拠点となる施設の改修等も行いながら、将来にわたり市民主体の地域づくりが持続可能となるよう、「つながり」と「かかわり」の強化に繋がる活動の支援を継続する必要があります。

## (2) 政策に影響する社会環境変化

- ・人口減少や少子化、高齢化が進む中で、市民の暮らしや価値観も多様化しています。
- ・地球温暖化の防止、循環型社会の構築、自然環境の保全、猛暑への対応等を検討しながら、持続可能な地域づくりを進める必要があります。
- ・集中豪雨などによる大規模な自然災害や岩手山の火山活動、犯罪認知件数の増加など、市民の安全で安心な日常生活へ対しての脅威が増しています。

## 3. 政策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 政策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

自らが暮らす地域をより良くするため、将来にわたって市民主体の地域づくりが持続可能となるよう、様々な情報発信や活動内容の周知を行いながら、多くの市民が、地域活動への関心を高めるとともに、人と地域の多様なつながりによるやさしさの循環と賑わいの創出、あらゆる世代の市民が支え合い共に行動するための活動や安全で安心な環境づくりを目指します。

## (2) この政策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・多様な「つながり」や「かかわり」が広がり持続可能な地域づくりが展開できるよう、市民主体の活動を支援します。
- ・市民や関係団体、企業等の連携による地域防災力の強化、啓発活動による防災・防犯意識の醸成により、地域の安全で安心な環境づくりを推進します。
- ・市民や関係団体、企業等の連携による地球温暖化対策及び環境に配慮したライフスタイルへの転換などの機運醸成に努め、第1次滝沢市環境基本計画の推進を図ります。
- ・国が推進するデジタル政策への適切な対応を図るとともに、市民にやさしい窓口を推進します。



## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策： 02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

担当部長職・氏名	健康こども部長 猿舘 睦子
----------	---------------

### 1. 政策の実現状況を明らかにする

#### (1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想が目指す状態との関連

	【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	「心身の健康」は誰もが望むことであり、いくつになっても健康に関心を持ち、身体的、精神的に成長することで生きがいづくりにもつながります。また、未来を担うこどもの健やかな成長は、保護者はもちろん、地域全体の願いです。地域で子育てを支える機運を高め寛容性の向上を図ることは、社会全体が成長していくことでもあります。このように、すべての年代の人が安心して暮らし、健康で成長できるまちを目指します。
	【基本構想が目指す状態（やさしさに包まれた滝沢）との関連】	「こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち」の実現を通して、市民の生活の基盤である心身の健康の保持増進が図られます。また、子どもを安心して産み育てられる環境や家庭や地域が一体となって子どもの成長を後押しできる環境が育まれます。

#### (2) 政策に関連する指標の状況

No	政策関連指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	自身が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	56.3	57 60.3	58 0	59 -	59 -	59 -	- 0.0	
2	こどもが大切に育てられていると感じている人の割合 単位 %	79	80 80.6	81 0	82 -	83 -	83 -	- 0.0	
	単位								

#### (3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施策名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施策関連指標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	02010100 健康意識と行動を変える健康づくりの総合企画 自身が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	56.3	57 60.3	58 0	59 -	59 -	59 -	- 0.0	
2	02010200 こどもが安心して暮らせる環境づくり 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	28.3	33 27.3	36 0	39 -	42 -	42 -	- 0.0	
3	02010200 こどもが安心して暮らせる環境づくり 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単位 %	73.5	76 83	78 0	80 -	82 -	82 -	- 0.0	
4	02010300 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化 こどもが大切に育てられていると感じている人の割合 単位 %	79	80 80.6	81 0	82 -	83 -	83 -	- 0.0	
5	02010300 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）割合 単位 %	73.5	76 83	78 0	80 -	82 -	82 -	- 0.0	
6	02010400 安心して暮らせる社会保険制度の推進 自身が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	56.3	57 60.3	58 0	59 -	59 -	59 -	- 0.0	



## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

担当部長職・氏名 健康こども部長 猿舘 睦子

## 2. 政策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 政策の進捗状況分析

「こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち」の実現を目指し、健康づくりを支える環境づくりや安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり、安心して暮らせる社会保険制度の推進に取り組んできました。少子高齢化の進行、健康寿命延伸のための健康づくりの重要性、多様な保育ニーズやこどもの居場所づくりの必要性、課題を抱える家庭への包括的支援の重要性等を踏まえ、引き続き、各施策の取組を推進していくことが必要です。

## (2) 政策に影響する社会環境変化

- ・岩手県の健康寿命は全国の中で最も短く人生100年時代を迎え、健康寿命の延伸は重要な健康課題となっています。この中において、生活習慣病の予防・重症化予防の取組や心身の健康づくりの実践は、重要となっています。
- ・仕事と育児・介護の両立、定年延長、高齢者の就労拡大などにより社会の多様化が更に進みます。
- ・女性の就業率や育児休業制度の活用増加により、幼児教育・保育のニーズは高まる一方、出生数は減少の見込みであることから、多様な保育ニーズやサービスの必要量の把握に努め、必要な施設整備や既存施設の活用等の検討が必要です。
- ・多様な家庭環境により課題を抱える家庭が増加傾向にあり、包括的支援の重要性が更に高まっています。
- ・県内市町村では、こどもにかかる医療費の無償化が進んでいます。

## 3. 政策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 政策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・市民の健康づくり意識の醸成を図ります。
- ・多様な子育て支援サービスの質と量の充実を図ります。
- ・妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談・支援を実施します。
- ・医療制度の適正かつ円滑な運営を実施します。

## (2) この政策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・受診しやすい健（検）診の仕組みづくりと受診率の向上に取り組めます。また、健康づくりを支える環境を活用し、運動の習慣化を図り、健康づくりを推進します。
- ・多様で質の高い育ちの環境の提供に取り組めます。また、放課後児童クラブの環境改善と地域資源を活用した放課後の居場所の検討を進めます。
- ・安心して妊娠・出産・子育てに臨むことができるよう産後ケアなどの支援体制の充実を図ります。また、5歳児健診の実施により、幼児の健康の保持・増進と就学に向けての切れ目のない支援の充実を図ります。
- ・安心して医療を受けるための医療費給付事業の充実を図ります。



## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策： 03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

担当部長職・氏名	福祉部長 勝田 裕征
----------	------------

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想が目指す状態との関連

【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	
人びとの暮らしや地域のあり方が多様化している中、地域に生きる一人一人が尊重され、多様な経路で社会とつながり参画することで、その生きる力や可能性を最大限に発揮できる「地域共生社会」の実現を目指します。	
【基本構想が目指す状態（やさしさに包まれた滝沢）との関連】	
助け合いながら暮らしていくことのできるまちの構築により、自分らしい暮らしと一人一人の生きがいや役割をもてる地域社会を実現します。	

(2) 政策に関連する指標の状況

No	政策関連指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標 1 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位 %	16.2	16.7	17.2	17.7	18.2	18.2	-	
			19.1	0	-	-	-	0.0	
	単 位								
	単 位								

(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施策名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施策関連指標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	03010100 住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単 位 %	42.9	43	43.5	44	45	45	-	
			41.5	0	-	-	-	0.0	
2	03010100 住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現 障がいがある方の社会参加が進んでいると感じている人の割合 単 位 %	22	22.5	23	23.5	24	24	-	
			23	0	-	-	-	0.0	
3	03010200 生活困窮者が安定した暮らしができるようにするための支援の推進 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単 位 %	42.9	43	43.5	44	45	45	-	
			41.5	0	-	-	-	0.0	
4	03010300 自分らしく暮らせる長寿社会の実現 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位 %	16.2	16.7	17.2	17.7	18.2	18.2	-	
			19.1	0	-	-	-	0.0	
5	03010400 高齢者が地域で暮らし続けられるための支援の推進 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位 %	16.2	16.7	17.2	17.7	18.2	18.2	-	
			19.1	0	-	-	-	0.0	
	単 位								

## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政策：03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

担当部長職・氏名	福祉部長 勝田 裕征
----------	------------

## 2. 政策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 政策の進捗状況分析

人口減少・少子高齢化がさらに進展し、経済情勢の変化や個人の価値観の多様化、グローバル化などにより、家族機能の低下や地縁・血縁・社縁による助け合い機能も低下する中、分野ごとの「縦割り」の制度では複合化・複雑化した生活課題への対応が困難となってきています。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、包括的相談支援と支え合う地域づくりを推進する必要があります。

## (2) 政策に影響する社会環境変化

- ・地域で支えあいや助け合いなどの相互扶助機能の衰退、地域並びに家族間の連帯意識の低下がみられます。
- ・物価高騰等の影響から経済情勢悪化の要因があるため、就労収入の減少による生活困窮者が今後増加していくことが想定されます。
- ・団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年も見据えたサービス基盤、人的基盤を整備し、地域共生社会の実現に向けた取組などを推進し、地域包括ケアシステムの深化、推進に向けた施策の展開を図る必要があります。
- ・人口減少による担い手の不足が懸念されます。

## 3. 政策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 政策が、令和6年度から令和9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・包括的な相談支援体制の構築や福祉サービス等の充実を図ります。
- ・関係機関との連携による生活保護受給者への支援の強化に取り組めます。
- ・高齢者が尊厳を保持し能力に応じ自立して生活できる取組を推進します。
- ・地域包括支援センターの機能強化に取り組めます。

## (2) この政策が令和8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・地域共生社会の実現に向けて、重層的支援体制整備事業を進めます。
- ・障がいのある人が地域等で安心して暮らせるよう、支援体制づくりを進めます。
- ・生活保護をはじめとした生活に困窮されている方の支援体制を強化します。
- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムを深化させます。



## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策：04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 木下 昇三
----------	--------------

### 1. 政策の実現状況を明らかにする

#### (1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想が目指す状態との関連

	【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	地域の産業に関わる方々が活動しやすい、挑戦しやすい環境をつくることで、1次産業、2次産業、3次産業など様々な分野において産業の活性化に繋がる取組が生まれ、これら一つ一つの取組を繋ぐことで、連携が生まれ、分野を超える大きな産業の活性化へと広がるまちを目指します。
	【基本構想が目指す状態（やさしさに包まれた滝沢）との関連】	「様々な産業の活性化が繋がり広がるまち」は、一つ一つの産業の活性化の取組が繋がりをつくることで大きな活性化に繋げることを目指しており、その過程においては、繋がりが重要となっていることから、繋がりを後押しする取組を強化することで基本構想が目指す状態を目指します。また、産業の活性化は地域の雇用に繋がり、所得面でのセーフティネットの堅持に繋がることから、基本構想が目指す状態の基盤をつくるものとなります。

#### (2) 政策に関連する指標の状況

No	政策関連指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標1 現在の仕事に満足している人の割合 単位 %	48.5	49.5	50.5	51.5	53	53	-	
			51.9	0	-	-	-	0.0	
2	指標2 活躍している若者が多いまちであると感じている人の割合 単位 %	20.4	21.3	22.2	23.1	24	24	-	
			19.2	0	-	-	-	0.0	
	単位								

#### (3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施策名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施策関連指標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	04010100 連携による観光産業の創出及び競争力のある物産振興と安心して働く環境の整備 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合 単位 %	45.7	46.5	47	50	51	51	B	
			43.4	0	-	-	-	0.0	
2	04010100 連携による観光産業の創出及び競争力のある物産振興と安心して働く環境の整備 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	68.9	70.5	72	73.5	75	75	A	
			71.3	0	-	-	-	0.0	
3	04010200 ICT関連を中心とした産業集積の促進と産学官連携による人材育成、地域産業の活性化 市の特色を活かした産業があると感じている人の割合 単位 %	25.7	26.5	27.3	28.1	30	30	-	
			24.7	0	-	-	-	0.0	
4	04010300 多様な連携による若者が活躍できる環境づくりと価値創造 活躍している若者が多いまちであると感じている人の割合 単位 %	20.4	21.3	22.2	23.1	24	24	-	
			19.2	0	-	-	-	0.0	
5	04010400 新たな担い手育成や環境保全による持続可能な農林水産業の推進 農業の担い手がいると感じる人の割合 単位 %	7.2	7.9	8.6	9.3	10	10	-	
			8.9	0	-	-	-	0.0	
6	04010400 新たな担い手育成や環境保全による持続可能な農林水産業の推進 地場産品が広く販売されていると感じる人の割合 単位 %	39.2	40.7	42.2	43.6	45	45	-	
			38.9	0	-	-	-	0.0	

## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策：04 様々な産業の活性化が繋がりが広がるまち

担当部長職・氏名 経済産業部長 木下 昇三

## 2. 政策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 政策の進捗状況分析

国際情勢の変化、長引く燃料、資材等の物価高騰、人口減少による人材不足、働き方改革や賃上げへの取組など、滝沢市内の企業、農林業者も大きな影響を受けており、政策目標への取組以外にも様々な取組が求められ、政策の進捗状況についても大きな影響を受けております。

そのような中、観光物産分野では、一般社団法人滝沢市観光物産協会との連携のほか様々な組織等との連携の模索、企業振興分野では、イノベーションセンター、パークへの企業進出、拡張、産業振興条例に基づく事業の推進、若者活躍推進では、市内大学の学生等の様々な取組の拡大、農林業分野では、地域計画の策定、農地中間管理事業の推進などの取組や地域農業の継続や担い手確保のための法人化など基盤となる取組は進んでおり、今後は、これらの産業の基盤を活用し、かつ、連携を促進しながら地域経済の活性化に繋がる取組を推進することが重要となっています。

## (2) 政策に影響する社会環境変化

国際情勢の変化、円安傾向の継続、長引く原材料やエネルギーの価格高騰、人口減少による人材不足や働き方改革の推進、賃上げへの取組など様々な事案が広く企業や農林業者に影響し、長引いております。

このような影響は今後も続くことが考えられ、特に「人材不足」については、企業や農林業の継続に大きな影響を与える要素と考えられ、人口減少の中で、今後さらに顕著に表れる課題と考えられ対策が必要となります。これらに対応するためには、IT、デジタル技術、AIの活用によるビジネスモデルの変革が必要であり、生産性の向上と、分野や地域を横断したさらなる連携を模索するなど大きな変化が求められています。

## 3. 政策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 政策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・連携による観光産業の創出及び競争力のある物産振興と安心して働く環境の整備。
- ・ICT関連を中心とした産業集積の促進と産学官連携による人材育成、地域産業の活性化の推進。
- ・多様な連携による若者が活躍できる環境づくりと価値の創造。
- ・新たな担い手育成や環境保全による持続可能な農林水産業の推進。

## (2) この政策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・チャグチャグ馬コの維持保存への取組と地域資源を活かした観光メニューの開発。
- ・市内事業者との連携による地域産品の開発とふるさと納税返礼品への活用。雇用確保のためのマッチング事業の開催。
- ・イノベーションパーク拡張のための基本計画に基づく事業推進、県立大学の企業学群構想を中心とした連携強化。
- ・経済活動継続のための若者をはじめとした人材育成強化、分野や地域を超えた取組への挑戦。
- ・学生との連携、移住定住事業の継続。「学生と企業」や「学生と地域」などの連携・交流推進。
- ・若者との交流機会の創出による若者発の事業の実施と支援。
- ・地域計画に基づき法人を中心とした地域農業の活性化。多様な担い手の発掘と育成の推進。
- ・森林環境譲与税を活用した具体的な森林の適正管理の取組の実施。



## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

<b>担当部長職・氏名</b>	都市整備部長 佐藤 勝之 上下水道部長 古前田 聡
-----------------	------------------------------

### 1. 政策の実現状況を明らかにする

#### (1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想が目指す状態との関連

	【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	市民の理解や共感を得ながら、豊かな自然と調和のとれた生活基盤の整備や維持を計画的に行うことにより、ひとにやさしく、快適で安全・安心に暮らすことができる住みやすいまちづくりを目指します。
	【基本構想が目指す状態(やさしさに包まれた滝沢)との関連】	「ひとにやさしく、快適で安全・安心に暮らすことができる住みやすいまち」の実現は、市民生活の基盤である住みやすい住環境を維持することを指しており、そのために市は、地域が抱える課題に対して「かかわり」を持ち後押しします。また協働除雪や互助輸送、自然環境保全による水資源保護等の市民が主体となり得る活動を支援することにより、持続可能な地域づくりへの意識の高まり、更には、かかわりによる市民主体の活動環境づくりを醸成し、地域づくりの基盤となるセーフティネットの堅持に繋がります。

#### (2) 政策に関連する指標の状況

No	政策関連指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標1 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	68.3	69	70	71	72	72	-	
			71.6	0	-	-	-	0.0	
	単位								
	単位								

#### (3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施策名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施策関連指標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	05010100 活力ある都市づくりの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	68.3	69	70	71	72	72	-	
			71.6	0	-	-	-	0.0	
2	05010200 計画的な道路整備と維持管理の推進 交通事故発生件数 単位 件以下	41	41	41	41	41	41	-	
			42	0	-	-	-	0.0	
3	05010300 河川及び公園の計画的な整備・改修と維持管理の推進 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %	46.4	47	47.6	48.2	48.8	48.8	-	
			44	0	-	-	-	0.0	
4	05010400 上下水道事業の健全かつ持続可能な経営と理解促進のための情報発信 経営資本営業利益率（水道） 単位 %	1.1	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	-	
			1.2	0	-	-	-	0.0	
5	05010400 上下水道事業の健全かつ持続可能な経営と理解促進のための情報発信 経費回収率（下水道） 単位 %	99.6	100	100	100	100	100	-	
			99.6	0	-	-	-	0.0	
6	05010500 安心・安全かつ強靱な上下水道施設の整備と自然環境保全及び水循環の推進 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合 単位 %	73.3	79	80	81	82	82	-	
			71.7	0	-	-	-	0.0	

## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 佐藤 勝之
	上下水道部長 古前田 聡

## 2. 政策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 政策の進捗状況分析

中心拠点商業地区の整備については、開発事業者が市のコンセプトに基づき、快適かつ安全・安心に暮らせるまちづくりに向けた整備が進められております。公共交通対策については、公共交通小需要地域や運転手不足等の対策など持続可能な公共交通の在り方について、市民や盛岡広域市町、関係機関とともに検討してまいります。

市民主体による地域づくりを支え、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち実現のためには、上下水道は欠かすことのできない重要なインフラであり、安定的な事業の継続が求められています。上下水道事業の現状の課題は「更新需要の増大」「料金・使用料収入の減少」「技術の継承」であり、この課題解決と安定的事業経営継続のため、「第3次水道事業ビジョン」「第3次滝沢市水道事業中期経営計画（前期）」及び「下水道事業経営戦略」を推進し、水道施設更新計画の策定、下水道事業計画の変更により、計画的な事業運営を進めます。

## (2) 政策に影響する社会環境変化

- ・補助金・交付金の減少、少子高齢化の進展などにより、市民と行政が協働して事業を推進する体制づくりが必要です。
- ・世界情勢の不安定や世界的な資源不足、円安、物価高騰などから土木・建設業界も環境の変化や大きな負担が強いられております。また、人手不足や高齢化に伴うオペレーターの確保について注視する必要があります。
- ・全国各地で地震や台風、局地的な大雨など自然災害により大きな被害が発生しており、災害時における応急対応及びライフラインの確保に対するニーズがより高まっています。
- ・人口減少による有収水量の減少により、水道料金及び下水道使用料収入が減少傾向にあります。

## 3. 政策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 政策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・中心拠点形成について、市のコンセプトのもと開発事業者と協議を進め、市民の利便性の向上と雇用の創出に努めます。
- ・空き家問題について、「滝沢市空家等対策計画」に基づき各施策を展開し、良好な住環境の維持を図ります。
- ・市民や盛岡広域市町、関係機関と連携して「盛岡都市圏地域公共交通計画」に基づき、持続可能な地域公共交通に向けて利用促進を図ります。
- ・市民の安全・安心、防災・減災を図るために道路整備と修繕、河川の改修事業を継続的に推進してまいります。
- ・協働除雪など市民に協働することの理解を深めるとともに、必要性や効果について情報を発信します。
- ・都市基盤整備に関連する研修会等へ職員の参加を積極的に進め、人材の育成や技術の継承を図ります。
- ・上下水道施設の中長期の改築・更新計画を策定します。
- ・料金、使用料収入の減少と更新需要の増加を見込んで、適正な水道料金、下水道使用料継続のため、定期的な検証と、必要に応じて見直しを行います。
- ・上下水道事業への市民の理解促進と参画意識醸成のため広聴広報の充実を図り、安定的事業運営及び大規模災害等緊急時の対策を推進します。
- ・技術継承のための人材育成を行います。

## (2) この政策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・中心拠点の形成に向けて関係する機関との連携調整及び防災・減災に資する道路として第1先古川線の整備を推進します。また、福祉バスと患者輸送バスを再編し、利用しやすく持続可能な公共交通網の構築を推進します。
- ・良好な住環境の形成に向けて、滝沢総合公園及び一般公園の長寿命化計画に基づき改修を実施します。また空家等対策計画に基づく施策を展開します。
- ・準用河川仁沢瀬川改修事業の推進や国直轄事業、県事業の砂防施設整備の早期完了を目指し連携して事業を推進します。
- ・市民と除雪業者、行政が連携し、持続可能な除雪体制の構築を推進します。
- ・策定した水道施設更新計画に沿った事業を推進し、管路更新を継続して実施します。
- ・下水道事業経営戦略を改定し、下水道使用料の在り方については市民に理解が得られるように周知します。



## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

担当部長職・氏名	教育次長 久保 雪子
----------	------------

**1. 政策の実現状況を明らかにする**

**(1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想が目指す状態との関連**

	【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】	市民の誰もが生涯にわたりそれぞれのステージで学ぶことができる環境が整っていることは、充実した人生を送るうえで重要です。そのために、子どもたちの学習環境をはじめ、すべての世代が教育や文化によって心豊かに暮らすことができる環境の充実を図ることで、市民一人一人が充実した人生を送ることができるまちを目指します。
	【基本構想が目指す状態（やさしさに包まれた滝沢）との関連】	「学びにより充実した人生を送ることができるまち」の実現を通じて、市民が主体的に学ぶことができる環境や学んだことが地域に生かされる「学びの好循環」が生まれ、かかわりによる市民主体活動を後押しできる環境が育まれます。また、安全・安心な教育環境の充実が図られ、学びの基盤づくりにつながります。

**(2) 政策に関連する指標の状況**

No	政策関連指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 単位 %	59	60 63.1	61 0	62 -	63 -	63 -	- 0.0	
2	趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合 単位 %	13.8	14 14.2	15 0	16 -	17 -	17 -	- 0.0	
	単位								

**(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況**

No	施策名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施策関連指標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	06010100 安全安心でいきいきと学習できる教育基盤の充実 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	28.3	33 27.3	36 0	39 -	42 -	42 -	- 0.0	
2	06010100 安全安心でいきいきと学習できる教育基盤の充実 子ども達が生き生きとしていると感じている人の割合 単位 %	42.6	43 39.7	44 0	44 -	45 -	45 -	- 0.0	
3	06010200 「生きる力」を育む学校教育の充実 5年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童の割合（小学校） 単位 %以上	81	81 80.6	81 0	81 -	81 -	81 -	- 0.0	
4	06010200 「生きる力」を育む学校教育の充実 1、2年生の時に受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた生徒の割合（中学校） 単位 %以上	87	87 81.7	87 0	87 -	87 -	87 -	- 0.0	
5	06010300 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単位 %	42.9	43 41.5	43.5 0	44 -	45 -	45 -	- 0.0	
6	06010400 文化に親しみ学ぶ環境の充実と文化芸術の振興 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数 単位 人以上	2,642	2,680 2,730	2,740 0	2,800 -	2,850 -	2,850 -	- 0.0	



## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

担当部長職・氏名

教育次長 久保 雪子

## 2. 政策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 政策の進捗状況分析

政策に関連する指標である「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携があると感じている人の割合」は、令和3年度に割合が大きく増加しました。これは、教育振興運動を基盤とした学校教育振興協議会の地域学校協働活動が展開された成果と捉えており、引き続き、地域と連携・協働しながら活動を推進していく必要があると捉えています。また「趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合」は、令和2年度まで増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から令和3年度に大きく減少しました。その後は増加傾向となっていますが、コロナ禍前の状態を踏まえつつ、引き続き、多様な学びを地域に活かす場を検討する必要があると捉えています。

## (2) 政策に影響する社会環境変化

- ・多様化、複雑化する社会に適応するため、子どもたちの「生きる力」を育むことが求められています。
- ・少子化や施設の老朽化が進む中、学校教育の充実に向けた教育環境の整備が求められています。
- ・児童生徒支援、特別支援教育など、教育課題が多様化、複雑化、複合化しています。
- ・デジタル化の飛躍的進展に伴う教育DX環境の充実が不可欠となっています。
- ・学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体で子どもたちの成長を支える社会が求められています。
- ・伝統文化の継承を通じた郷土理解や魅力発見など、郷土に対する誇りや愛着を育むことが求められています。

## 3. 政策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 政策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

全ての世代を対象とした、スポーツ・文化芸術などを含めた学びあいの場の創出や、子どもたちの学校教育環境の整備は、心豊かな生活を送るうえで重要です。そのために、人と社会とのつながりが感じられる「学びあいの場」や、多種多様な「学びの場」を創出します。また、未来を担う子どもたちが伸び伸びと学校生活を送るために必要となる安全安心な教育環境を整備し、学校教育の充実を図ります。

## (2) この政策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・姥屋敷小中学校の統合に関し、児童生徒が充実した学校生活を送れるよう、通学環境及び教育環境を整備します。
- ・児童生徒が安全安心でいきいきと学習できるよう、学校教育の環境整備を行います。
- ・郷土を愛する心を育む「滝沢魅力学」を展開するとともに、主体的・対話的で深い学びを推進します。
- ・リカレント教育の推進や体験活動の充実を図るとともに、スポーツ施設等の環境整備を行います。
- ・伝統文化や芸術の振興につながる場の提供と、滝沢の魅力を再発見できるよう郷土資料の充実を図ります。
- ・安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供するため、適切に食材を調達するとともに調理環境の向上を図ります。



## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

<b>担当部長職・氏名</b>	企画総務部長 熊谷 和久 税務部長兼会計管理者 正木 賢
-----------------	---------------------------------

### 1. 政策の実現状況を明らかにする

#### (1) この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿と、基本構想が目指す状態との関連

<p><b>【この政策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】</b>                  市税の適正な賦課と公平な徴収を行うことで自主財源を確保するとともに、公金の適正な管理と運用を行うことで市政経営の安定した基盤を確保します。また、多様な環境変化の中、「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」の実現に向け、「市民生活の堅持」と「市民の行動を後押しできる環境整備」のため、滝沢の価値と未来を創造する人材の育成や経営資源の確保と資源配分の最適化により、持続可能な行財政経営を進める部門を目指します。</p> <p><b>【基本構想が目指す状態（やさしさに包まれた滝沢）との関連】</b>                  経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）の確保と最適化により持続可能な行財政経営を堅持することが「やさしさに包まれた滝沢」の実現に繋がります。</p>	
---	--

#### (2) 政策に関連する指標の状況

No	政策関連指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標1 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	36.8	37.8	38.8	39.8	40.8	40.8	-	
			34.4	0	-	-	-	0.0	
2	指標2 市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合 単位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
			47.4	0	-	-	-	0.0	
	単位								

#### (3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況

No	施策名	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
	施策関連指標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	07010100 新たな価値を創造できる職員の育成と行政体制の構築 職員の研修参加者数 単位 人	786	800	805	810	815	815	-	
			855	0	-	-	-	0.0	
2	07010100 新たな価値を創造できる職員の育成と行政体制の構築 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	36.8	37.8	38.8	39.8	40.8	40.8	-	
			34.4	0	-	-	-	0.0	
3	07010200 行政経営による総合計画の推進 政策達成度(政策達成評価において【達成した】又は【概ね達成した】と評価した割合) 単位 %	0	50	75	90	100	100	-	
			100	0	-	-	-	0.0	
4	07010200 行政経営による総合計画の推進 施策達成度(施策達成評価において【達成した】又は【概ね達成した】と評価した割合) 単位 %	0	50	75	90	100	100	-	
			100	0	-	-	-	0.0	
5	07010300 たきざわの魅力発信による愛着づくり 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	68.9	70.5	72	73.5	75	75	-	
			71.3	0	-	-	-	0.0	
6	07010400 デジタル社会を見据えた情報システムの構築と運用 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	36.8	37.8	38.8	39.8	40.8	40.8	-	
			34.4	0	-	-	-	0.0	

## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策： 07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

<b>担当部長職・氏名</b>	企画総務部長 熊谷 和久 税務部長兼会計管理者 正木 賢
-----------------	---------------------------------

**(3) 政策を構成する施策及び関連する指標の状況**

No	施 策 名 施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
7	07010400 デジタル社会を見据えた情報システムの構築と運用 市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合  単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
			47.4	0	-	-	-	0.0	
8	07010500 次世代につなげる財政運営 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合  単 位 %	36.8	37.8	38.8	39.8	40.8	40.8	-	
			34.4	0	-	-	-	0.0	
9	07010500 次世代につなげる財政運営 市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合  単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
			47.4	0	-	-	-	0.0	
10	07010600 適正で効率的な課税事務の推進 市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合  単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
			47.4	0	-	-	-	0.0	
11	07010700 市政経営のための確実な税財源の確保 一般税の収納率  単 位 %	97.8	98	98	98	98	98	-	
			98.2	0	-	-	-	0.0	
12	07010700 市政経営のための確実な税財源の確保 目的税の収納率  単 位 %	86.1	87	87	87	87	87	-	
			86.9	0	-	-	-	0.0	
13	07010700 市政経営のための確実な税財源の確保 市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合  単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
			47.4	0	-	-	-	0.0	
14	07010800 市民に信頼される会計事務の実現 市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合  単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
			47.4	0	-	-	-	0.0	
	単 位								
	単 位								
	単 位								
	単 位								

## 前期基本計画 令和 8年度 政策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

担当部長職・氏名	企画総務部長 熊谷 和久 税務部長兼会計管理者 正木 賢
----------	---------------------------------

## 2. 政策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 政策の進捗状況分析

目指すまちの姿に掲げる「滝沢の価値と未来を創造する人材の育成や経営資源の確保と資源配分の最適化」について、職員の仕事に対するエンゲージメントの向上と、経営資源の確保と資源配分の把握について、部門の枠を越えて職員が話し合う場面が作られ、全庁的な取り組みとして動き出しています。

## (2) 政策に影響する社会環境変化

世界情勢の変化による物価の高騰や、日本における少子高齢化の進行等により様々な影響が生じています。市民生活への支援に必要な財源について、単年度での国の施策に基づく事業展開と中長期的な視点での市の財政状況を慎重に見極めた適切な市政運営が求められています。特に全国的な人件費の高騰は、全ての分野に大きく影響するものであり、持続的な財政運営を図る為にも、事務事業の優先順位について再度確認をする必要があります。

## 3. 政策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 政策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

職員のエンゲージメントに配慮した資質の向上を図り、専門性の高い知識の習得に努めながら、職場環境の整備を図るとともに、デジタル技術やAI等を活用しながら行政DXを推進し、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていきます。また、滝沢市の様々な情報を多様な媒体で積極的に発信することにより、滝沢への愛着を育む取組を推進し、市の活動への参画に繋げていきます。

## (2) この政策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・適正な人員配置による働きやすい職場環境の整備と人材育成方針に基づく職員の育成
- ・総合計画の確実な推進
- ・ヒト・モノ・コトをつなぎ地域愛着の醸成を図る取組の推進
- ・新たなデジタル技術による業務効率化や電子申請などDXの推進
- ・公共施設の改修、長寿命化の推進
- ・基幹業務システムの標準化に関する取り組みと課税事務の電子化の推進
- ・市税を取り巻く情勢の変化に応じた納めやすい納税環境の整備
- ・広まりつつある電子取引を踏まえた新たな手法について調査研究

